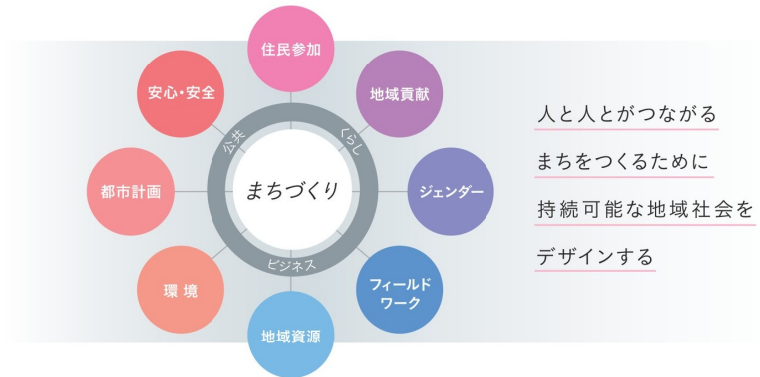


Department of Community Design

コミュニティデザイン学科

Field of study 学びのフィールド



Feature 学科の特徴

実践重視の学びで地域の新たな価値を創造する力を磨く

地域特有の人材、技術、産業、景観、食などの資源を柔軟な発想で活用し、地域に新たな価値を創造したり、発信したりする事例や手法を、現地・現場での実践活動を通じて学びます。

日常の身近な問題から、学び、考える

毎日の暮らしにおける「なぜ」を考えます。『24時間の文化』『ネット社会』『食文化』『買い物』など、学生に身近なテーマから、社会の現実や本質的な課題に迫ります。

ジェンダーの視点を大切にしながら学ぶ

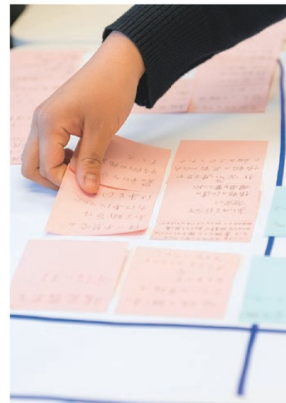
家事や育児、介護などの在り方をジェンダーの視点から問い直し、地域ぐるみで支え合う少子高齢時代のまちづくりを、女性の生き方・働き方の多様化を踏まえて学びます。

コミュニティデザイン学科「卒業論文・卒業研究」タイトル(2022年度一部抜粋)

- 男性の家庭時間の創出 — 男性の家事育児参画促進に向けた課題の発見と解決 —
- 音楽フェスの地方開催と空間の共有 — 京都市大作戦と1000人ROCK ACOUSTICから見るコミュニティ形成 —
- Iターン移住で生活は豊かになるのか — 地域おこし協力隊を事例に考える —
- 接客の機械化とコミュニケーションに関する社会学的研究 — 感傷労働という視点から —
- 都市公園の商業的利用の可能性と課題
- 鉄道沿線型ショッピングモールのコミュニティ施設としての可能性に関する研究 — 越谷イオンレイクタウンを事例として —
- 現代における地域メディアの役割 — コミュニティFMから見る地域メディア —
- アロススポーツチームが地域にもたらす貢献 — 千葉のアロススポーツを例として —
- 祭りを通して地域活性化していくためには — 一ねぶた祭りを中心に —
- 若者にとってのコミュニティカフェとは？



誰もが暮らしやすい
元気なコミュニティを
創り出す力を育む。



Curriculum カリキュラムの概要

学びのステップ	1年次	2年次	3年次	4年次
	幅広い教養を身に付けると共に、学科での基礎を学ぶ	学外実習を通じて社会への目を開かせる	専門的な学びを広げ、かつ深めると共に、実践力をつける	実践力の向上と4年間の学びの集大成
基幹科目	社会学入門 コミュニティデザイン入門 フィールドスタディ入門	地域社会学 コミュニティ論 環境と防災 ビジネスデザイン 女性のライフサイクル 消費社会学	【グローバルコミュニティ】 コミュニティデザイン コミュニティと行財政 コミュニティ関連法規 コミュニティと金融 コミュニティと地場産業 コミュニティと住民参加 インフラストラクチャー コミュニティとまちづくり 都市の社会学 近郊の社会学	【ライフデザイン】 男女共同参画社会 出合いの社会学 コミュニティビジネス 家庭と仕事 出産・育児のセーフティネット 子どもと教育 介護と福祉 老いと女性
演習		基礎ゼミナール(コミュニティ)	コミュニティ論特殊講義(24時間の文化) コミュニティ論特殊講義(ネット社会) コミュニティ論特殊講義(食文化) コミュニティ論特殊講義(買い物)	コミュニティ論特殊講義(プライダル) コミュニティ論特殊講義(女性文化) コミュニティ論特殊講義(学校)
資格科目	データの読み方 社会統計学		コミュニティデザイン演習IA コミュニティデザイン演習IB	コミュニティデザイン演習IIA コミュニティデザイン演習IIB
共通科目	【講義】 むさしの学 人口学 社会調査入門 社会をデザインする女性たち 【特殊演習】 観光国家資格取得特殊演習A		卒業論文	卒業論文・卒業研究
観光コミュニティ学部	【講義】 むさしの学 人口学 社会調査入門 社会をデザインする女性たち 【特殊演習】 観光国家資格取得特殊演習A		多変量解析の基礎 質的調査法	社会調査実習I 社会調査実習II
			【講義】 ぶんきょう学 NPO・NGO論 取材学 イベント・コンベンション論	【特殊演習】 プライダル・コーディネート特殊演習 【実習】 観光コミュニティデザイン実践

※このカリキュラムは2023年度現在の教育課程に基づいたものです。

Course model 履修モデル

幅広い将来の進路に合わせて、3つの履修モデルを設定しています。

コミュニティ分野	ビジネス分野	社会貢献分野
〈公共の視点〉 住民と行政が協働して地域づくりをする	〈事業者の視点〉 誰もが幸せに暮らすために地域経済を元気にする	〈生活者の視点〉 人と人をつなぎ支え合う仕組みをつくる
【履修科目目録】 <ul style="list-style-type: none"> コミュニティデザイン コミュニティと行財政 コミュニティ関連法規 コミュニティと住民参加 インフラストラクチャー 環境と防災 コミュニティ論 特殊講義(学校) 	【履修科目目録】 <ul style="list-style-type: none"> ビジネスデザイン コミュニティと金融 コミュニティと地場産業 コミュニティビジネス コミュニティ論特殊講義 コミュニティ論特殊講義(24時間の文化) コミュニティ論特殊講義(ネット社会) コミュニティ論特殊講義(買い物) コミュニティ論特殊講義(学校) 	【履修科目目録】 <ul style="list-style-type: none"> 女性のライフサイクル 男女共同参画社会 コミュニティとまちづくり 子どもと教育 老いと女性 出産・育児のセーフティネット コミュニティ論 特殊講義(食文化)
【コミュニティと行財政】を履修した学生の声 コミュニティの中で起こっている課題や現状をわかりやすく教えてくださるため、自分の知識の幅が広がっている気がします。課題も新聞記事を見て行うことが多いので、今起きている社会問題への関心も授業を通して高まりました。	【コミュニティと地場産業】を履修した学生の声 授業では一週間のニュースを振り返りながら、全国の伝統工芸品や地域の産業について学びます。全国の地場産業を学ぶことはもちろん地元産の産業について改めて考える機会にもなり、毎週楽しんで授業を受けています。	【老いと女性】を履修した学生の声 高齢者の介護問題や女性の育児と仕事の両立問題など、少子高齢社会の現代を生きている女性として、たくさんの知識を得ることが出来ます。初めて知る知識や社会問題などがたくさんあって、毎回刺激がありがたい授業です。

Student's Voice 学生の声

誰もが気軽に利用できる

地域の交流拠点を開設。

コミュニティデザインの意義を実感しました。

H.N. さん

コミュニティデザイン学科4年 東京都 隣友学園女子高等学校出身

中学生の頃から公民や現代社会の授業が好きで、子どもたちの生きづらさやジェンダーの問題に興味を持つようになりました。「困っている人たちの力になりたい」と思うようになり、より深く学べる大学を探し、コミュニティデザイン学科に出会いました。

2年次には空き店舗を利用した地域の交流拠点づくりに参加し、休憩スペースとしての提供や、マルシェの開催をする中で、地域や企業の方々と取り組みも経験。また、フリーペーパーづくり情報発信するなど、座学だけではわからない地域コミュニティをデザインすることの大切さや面白さを実感できました。

卒業後は、市役所職員としてまちづくりに携わり、より住みやすく、暮らしやすい環境をつくることで、地域の人々の役に立ちたいと考えています。

3年次の時間割(例)

	月	火	水	木	金	土
1限	ボランティア実習B	日本語演習			コミュニティデザイン演習A	
2限	出産・育児のセーフティネット				刑法	
3限	コミュニティデザイン	総合科目(国際政治)		コミュニティ論特殊講義(食文化)		
4限	コミュニティと地場産業			家庭と仕事		
5限	コミュニティ論特殊講義(プライダル)			民法		

Pick up 授業紹介

地域社会とは何か、成り立ちから理解する

地域社会学

土居 洋平 准教授

【研究分野】農村社会学・都市社会学・地域社会学

地域社会学という学問が生まれた背景とその視点を学んだ上で、コミュニティ・地域活性化・まちづくり・コミュニティデザインといった、地域社会に関わる重要な概念、概念同士の関係について学びます。その上で、新座市・文京区といった具体的に身近な地域社会について、子育て支援・消費・移動などの具体的な課題について理解を深めます。

いかなる時も安心できる社会を考える

環境と防災

鍵屋 一 教授【研究分野】防災

この授業では、持続可能な社会を考える世界共通の戦略ゴール「SDGs」と災害大国の日本の「防災」を学びます。両者に重なるキーワードが「誰ひとり取り残さない」。次世代へより良い環境を残すには？高齢者、障がい者、赤ちゃんが、平時も災害時も安心できる社会をつくるには？豊富な事例と、学生同士のワークショップで理解を深めます。

